

平成 22 年度 第二回長野市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 会議概要

開催日時	平成 22 年 8 月 20 日（金） 午前 10 時から 11 時 50 分
開催場所	ふれあい福祉センター 4 階 会議室
委員出席者	12 名（欠席委員 2 名）
傍聴者・報道関係者	傍聴者 0 名
事務局出席者	障害福祉課長、他障害福祉課職員、サーベイリサーチ杉本所長計 10 名
公開・非公開	公開
分科会内容（概要）	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ（芝波田会長）</p> <p>3 議事</p> <p>ア) 障害当事者アンケート結果について（宮本係長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「長野市障害者福祉のためのアンケート報告書」（資料 1）を使用し説明を行った。 <p>イ) 今後のスケジュールについて（宮本係長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「長野市障害者基本計画策定スケジュール」（資料 2）を使用し、今後のスケジュール、パブリックコメントでの市民の参加、計画策定公表までの予定を報告 <p>ウ) 計画体系（案）について（宮本係長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「計画の体系（案）」計画名の正式確定の同意と 6 つの章からなる基本体系の説明（資料 3） <p>エ) 計画素案について（宮本係長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「笑顔と元気がいっぱい！幸せながのプラン（長野市障害基本計画）案」第 1 章より第 6 章 説明（資料 4） <p>< 質疑・要望等 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果は、60 歳以上が 60% 以上という結果で若い世代の意見が見受けられない。就労など若い世代の意見が反映されるようにしてほしいとの声があり、事務局にて世代別に分類して、出し直すことにした。 ・介護保険と障害者医療と連携し、市独自で行うことはどうかとの問いに対して、財政的にも厳しい。現在の施策は、医療や介護は基本的には、国の施策の中で行うほうが転居の際の問題などがないとの返答があった。 ・計画の体系 6 章 1 節「ユニバーサルデザインの推進」は、節名称が抽象的すぎてわかりにくく、内容の分かりやすいものにしてほしいとの要望があった。 ・施設充実では、バリアフリー専門の窓口を作り、障害者だけでなく高齢者、子どもを含む全ての人に生活しやすいまち全体での環境整備が必要なのではないかとの意見があった。 <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>